

所沢市 財政トークス



第30号「令和2年度当初予算・補正予算（4月・5月分）」
所沢市財務部財政課 令和2年5月発行

所沢市の財政について、わかりやすくお伝えするために発行している所沢市財政トークス。今号は、令和2年度予算について、「1 当初予算総額」「2 歳入当初予算」「3 歳出当初予算」「4 補正予算（4月・5月分）」の4本立てでお送りします。

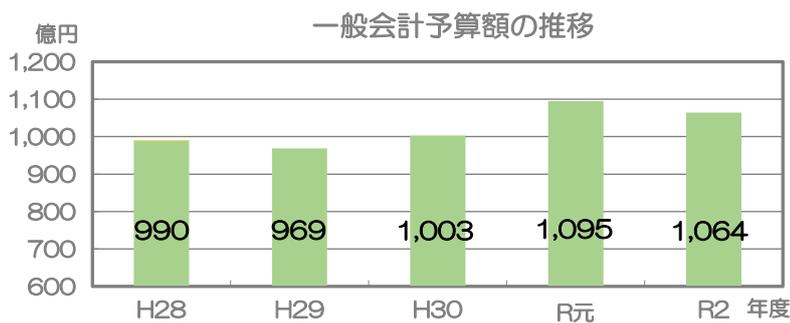
財政に詳しい方も、普段あまりなじみのない方も、この機会に、所沢市の財政について新しい発見をしていただき、興味を持っていただけたら幸いです。

1 当初予算総額

次代へつなぐ 未来（あす）への架け橋

一般会計予算総額 1,064億円

3月27日に議会で予算案が可決され、令和2年度当初予算額が決定しました。予算総額は、一般会計で 1,064億円、特別・企業会計を含めると、1,932億5,169万円となりました。



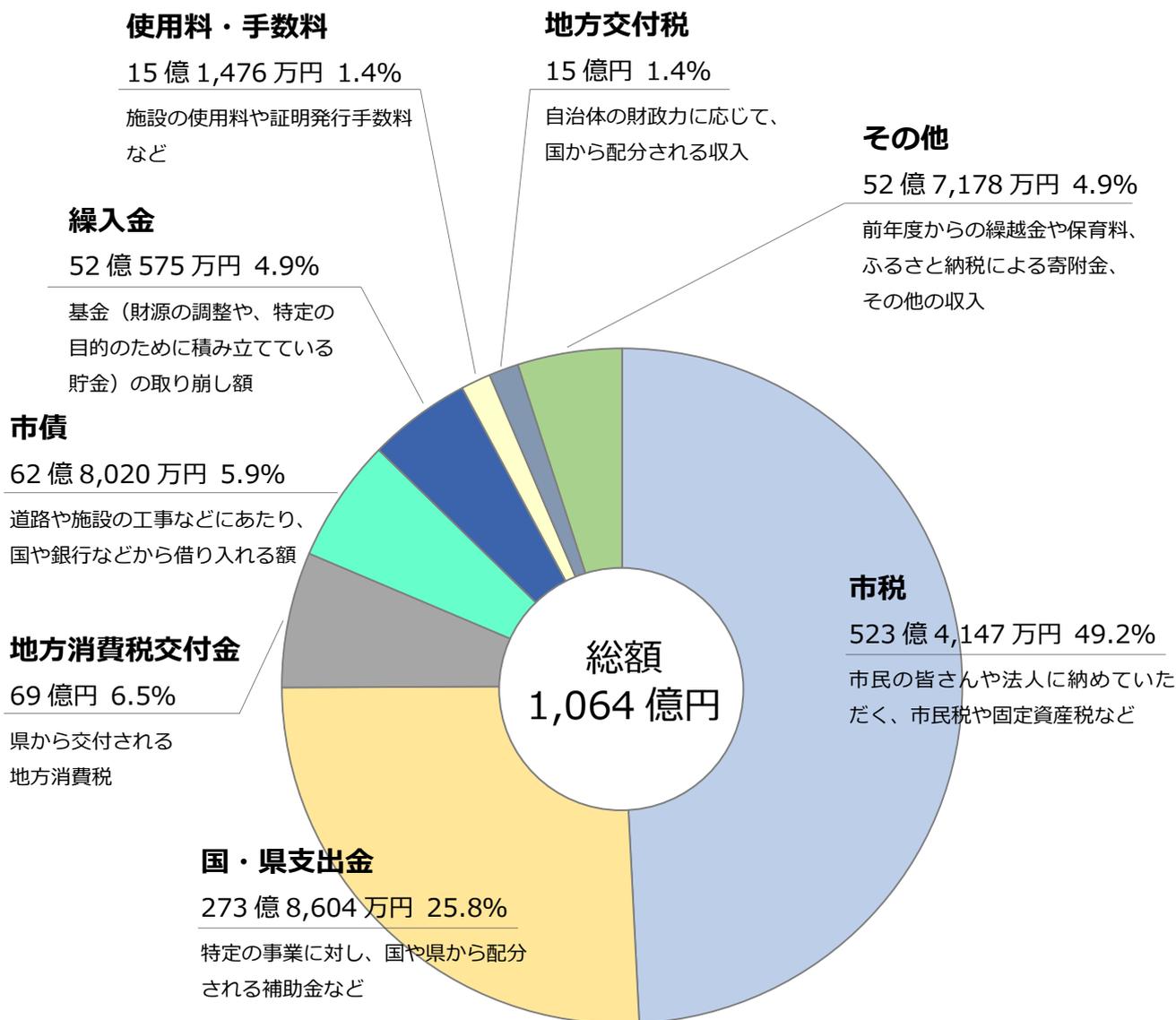
一般会計予算額は、平成30年度に初めて1,000億円を超え、昨年度に過去最大となり、今年度はそこからやや減額となりました。

この要因としては、これまで取り組んできた投資的事業（工事費を始めとしたハード事業など）のうち大きな事業が終了したことなどが挙げられます。

また今年度予算は、「人を中心にしたまちづくり」を意識しながら、投資的事業も引き続き実施する、「人と人の絆」「自然との調和」を未来（あす）に伝えていくための予算となっています。名付けて、『次代へつなぐ 未来（あす）への架け橋予算』！！

次のページからは、その内容についてお伝えしていきます。

2 歳入当初予算



昨年度と比べて、大きく変わったのはどんなところ？

↑増額↑…地方消費税交付金（+10億4,700万円、+17.9%）

消費税率10%への引き上げに伴う増収分を見込んだものです。なお増収分の交付金は、社会保障財源（福祉、保険、医療）に充てることとしています。

↓減額↓…市債（▲49億7,210万円、▲44.2%）

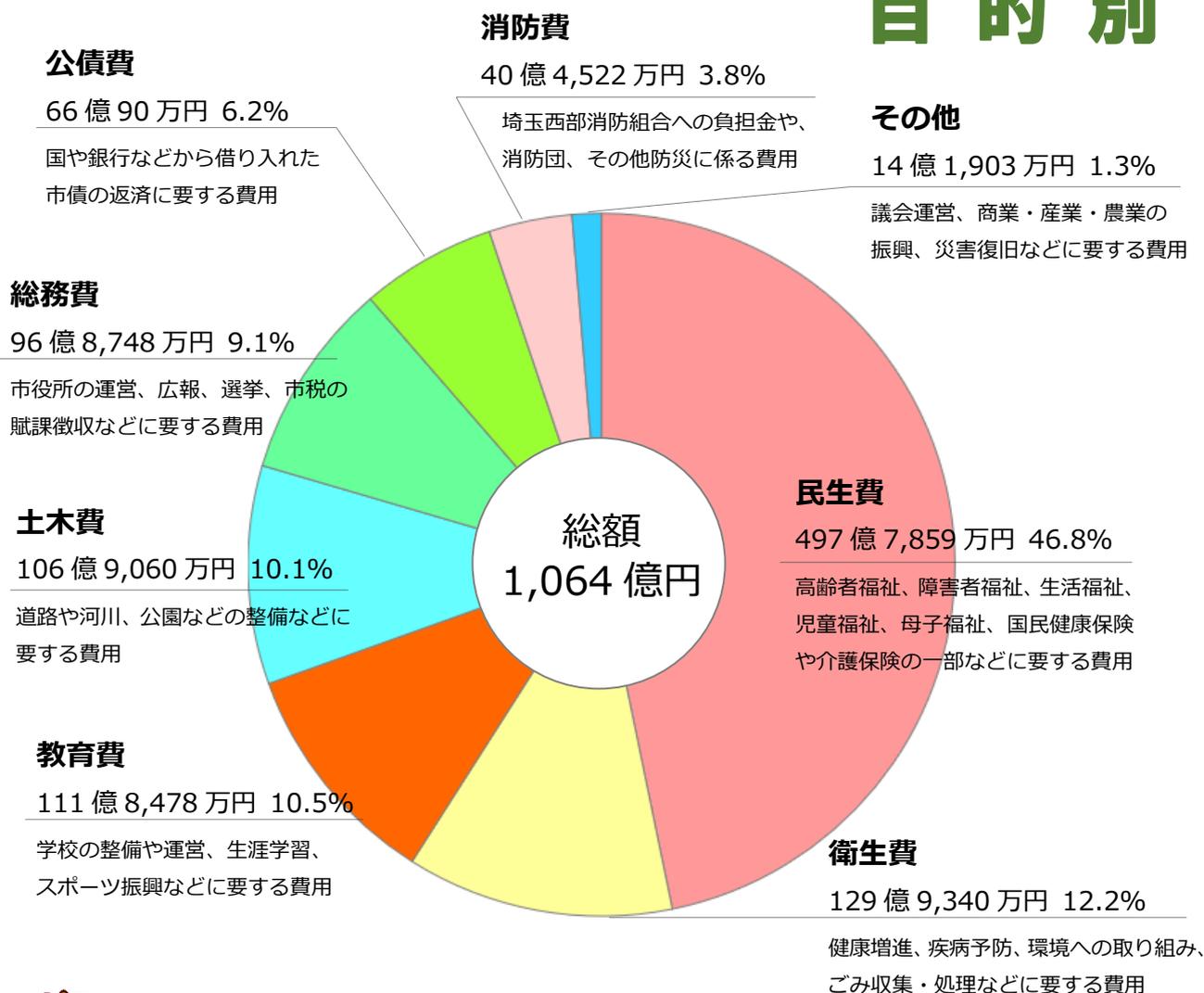
東部クリーンセンター長寿命化工事費の減額、市民文化センターミュージ改修工事終了などの影響で、工事等のために国や銀行から借り入れを行う市債が減額となりました。

↓減額↓…分担金及び負担金（▲8億753万円、▲56.4%）

令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化により、保育園の保育料が大幅な減額となりました。なお、減額分の一部については、国・県支出金が配分されます。

3 歳出当初予算

目的別



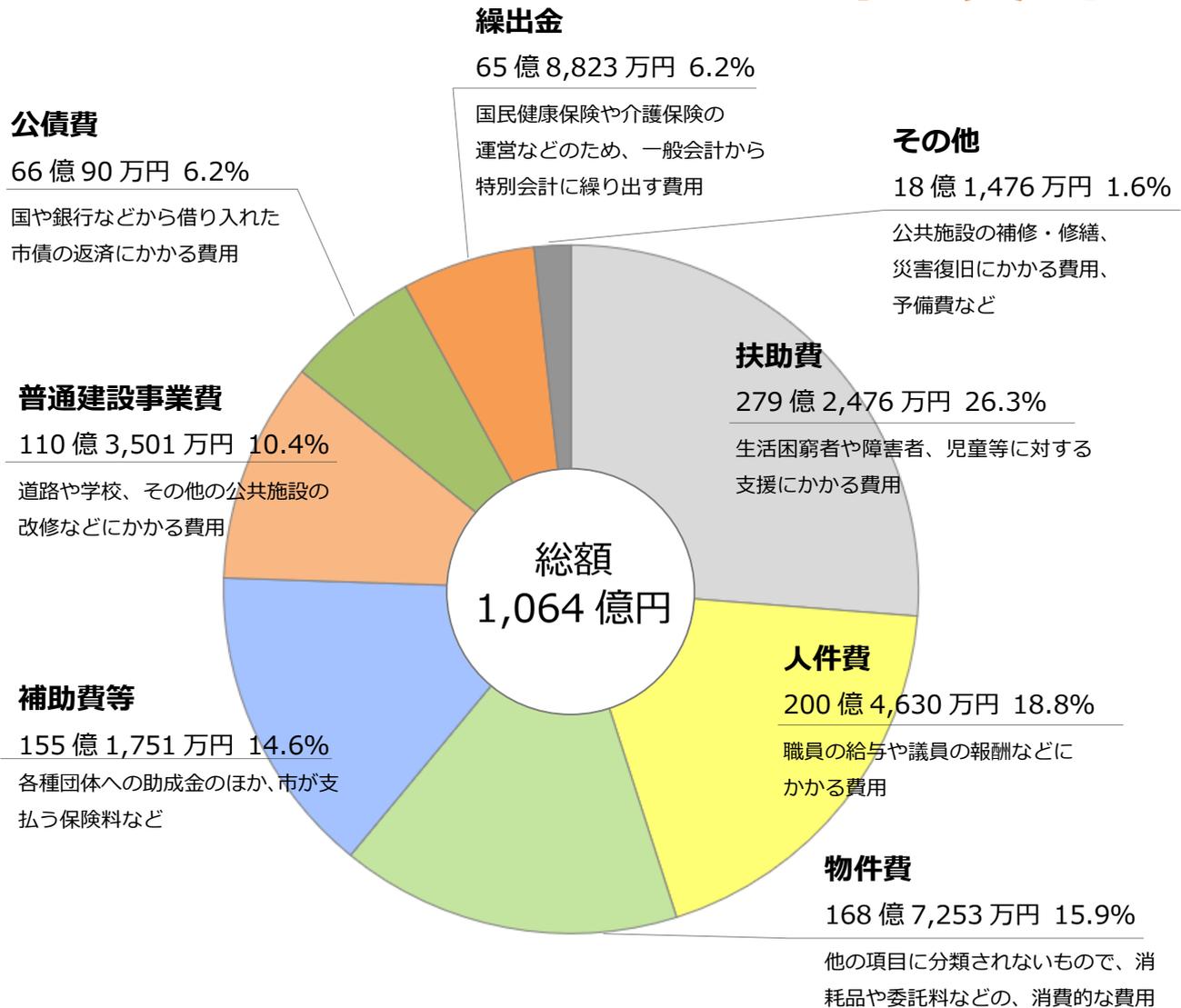
ほかの市の予算額はどのくらい？

所沢市の一般会計予算総額 1,064 億円を、県内で人口同規模の市や近隣市と比べてみたところ、以下のようになりました。

| | 人口 (令和2年3月末) | 一般会計予算総額 | 1人当たりの予算額 |
|-----|--------------|------------------|-----------|
| 所沢市 | 344,193 人 | 1,064 億円 | 309,129 円 |
| 川越市 | 353,456 人 | 1,158 億 5,000 万円 | 327,764 円 |
| 越谷市 | 344,682 人 | 1,056 億円 | 306,369 円 |
| 狭山市 | 150,394 人 | 482 億 200 万円 | 320,505 円 |
| 入間市 | 147,542 人 | 439 億 5,100 万円 | 297,888 円 |
| 飯能市 | 79,343 人 | 298 億円 | 375,584 円 |
| 日高市 | 55,590 人 | 187 億 1,000 万円 | 336,571 円 |

こうして見ると、人口と予算額はある程度比例しており、人口1人当たりの予算額は概ね似通った数字となっていることがわかります。県内の市の行政には、大体このくらいの予算が必要なんですね。

性質別



「目的別」と「性質別」はどう違うの？

歳出には、前ページの「目的別」、このページの「性質別」の2通りの分け方があります。ちょっとわかりづらいこの2つの違いを、目的別の民生費を例に見ていききたいと思います。

【目的別】
何のために使うか

【民生費】
主に「福祉のため」に使う費用

【性質別】
何に使うか

【人件費】
福祉部門で働く職員等の人件費

【普通建設事業費】
福祉施設の改修工事費

【扶助費】
生活保護費や児童手当

【補助費等】
福祉に係る事業者や団体などへの補助金

このように、目的別の中のいろいろな費用を、考え方を改めて分類し直したものが「性質別」で、自治体の財政の特色などを測る指標としても活用されています。

3・4ページで歳出予算について見てきましたが、ここでは、前年度と比較し、特に増減の幅が大きいものについてご紹介します。

増えた？
減った？



歳出予算（目的別）

↑増額↑…教育費（+15億3,686万円、+15.9%）

山口中学校の既存擁壁の改修工事（前年度当初予算比+5億2,642万円）を始めとする公共施設の改修などの影響により、増額となりました。

↓減額↓…雑務費（▲36億7,884万円、▲27.5%）

市民文化センターミュージズ改修終了による工事費の減額（同▲39億8,722万円）が大きな要因となりました。また米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備事業終了（同▲5億131万円）なども影響しています。

↓減額↓…衛生費（▲17億5,978万円、▲11.9%）

主な減額要因として、東部クリーンセンター長寿命化工事費（同▲20億4,822万円）が挙げられます。



歳出予算（性質別）

↑増額↑…人件費（+26億5,279万円、+15.3%）

今年度からの制度改正による、会計年度任用職員に係る報酬や手当など30億円超を人件費として計上したことで、大きく増額となったものです。

※昨年度までの臨時的任用職員制度による賃金や一部の非常勤特別職に係る報酬等が、会計年度任用職員制度に組み込まれ、これらの費用が、昨年度までの「物件費」から「人件費」へと変更になりました。

↓減額↓…普通建設事業費（▲61億4,144万円、▲35.8%）

東部クリーンセンター長寿命化工事費（前年度当初予算比▲20億4,822万円）、市民文化センターミュージズ改修工事費（同▲39億8,722万円）等の影響により減額となりました。

一方、増額となったものでは、工事が本格化する所沢駅西口の歩行者デッキ工事（同+4億4,719万円）、山口中学校の既存擁壁の改修工事（同+5億2,642万円）などが挙げられます。

↓減額↓…物件費（▲12億4,350万円、▲6.9%）

会計年度任用職員制度の影響が大きく、減額となりました（人件費を参照）。

一方、委託料については、消費税率の改定や最低賃金の上昇などの事情により増額となっています（同+8億5,979万円）。

4 補正予算（4月・5月分）

ところざわの元気回復に向かって…

私たちの生活に大きな影響をもたらしている新型コロナウイルスですが、本市では、特別定額給付金のほか、市独自のものも含めさまざまな支援を行うため、4月から5月にかけて、3度にわたり補正予算を計上しました。

※例年では6・9・12・3月の年4回、所沢市議会定例会が行われており、これに合わせて補正予算を提出していますが、今回は、速やかな対応を行うため、6月定例会を待たずに補正予算を計上したものです。



4月20日（第1回臨時会）

特別職（市長・副市長・教育長・常勤監査委員）の給料等の減額・・・▲400万円

所沢元気回復プロジェクト・・・4,774万円

- 新たにテイクアウトや宅配を開始する飲食店に対し、費用を支援（最大10万円）
- 雇用調整助成金の申請書類作成を、社会保険労務士による個別相談にてサポート



4月27日（専決処分）

特別定額給付金の申請書作成や発送に係る経費・・・3億1,284万円



5月13日（第2回臨時会）

特別定額給付金（10万円/人）・・・345億円

寄附金を活用して行う所沢元気回復プロジェクト・・・3,660万円

- 「音楽のあるまちづくり」協力ミュージシャン等や店舗等への給付金（1,700万円）
- 観光大使 JAY' S GARDEN に市制施行70周年記念ソングの制作を依頼（20万円）
- 商店街に対する給付金（1万円/加盟店）
- 本市の伝統芸能である雛人形等を制作する2事業者への給付金（20万円/事業者）
- 感染拡大が落ち着いた後、市内プロスポーツチーム等と連携したイベントの開催（20回）

子育て世帯への臨時特別給付金（1万円/児童1人）・・・4億696万円

臨時休園や登園自粛となった保育所等の保育料の日割計算・・・2,074万円

乳幼児健康診査（4か月児）の個別検診・・・1,262万円

売上が減少した小規模事業者等に対する給付金（10万円/事業者）・・・6億3,101万円

商店街等に対する照明施設等の電気料の補助額増額（最大200万円）・・・581万円

水道料金免除（2か月分）による暮らしと産業支援

（※水道事業会計にて、収入▲9億5,337万円、支出463万円）